



光寿



今回のお盆特集は数珠についてのお話です。日頃何気なく手にしている数珠。お盆を機に見直してみませんか。

◆数珠とは？

穴が貫通した多くの珠に糸の束を通し輪にした法具。仏を念ずる時に用いる

珠との意味から「念珠」(ねんじゆ)とも呼ばれます。字の前後を入れ替えて「珠数」と書く場合もあります。

◆数珠の起源は？

数珠は、梵語では「ハソマ」といい、中国の梁の時代(六世紀)頃に「数珠」と呼ばれるようになったそうです。その起源は諸説があり定かではありませんが、二、三世紀頃すでに法具としてあったと言われています。日本へは六世紀中頃仏教の伝来と共に伝わってきました。数珠についての最初の文献は、天平十九年(七四三年)二月十一日の「法隆寺資財帳」です。

この頃の数珠は貴重品で、僧侶の間でもごく一部の者が使っていたにすぎず、何点かの遺品がいま御物として奈良東大寺の正倉院に納められています。庶民も数珠を手にするようになったのは江戸時代からで、中国の禅僧達により伝えられた「片手(一輪)念珠」が大いに普及しました。

◆数珠の珠の数とその意味は？

珠の数は「数珠功德経」によると千八玉が最もよいとされていますが、他の文献では百八、その半数の五十四、さらにその半数の二十七の順に功德があるとされています。現在では特に玉数に拘らず、寸

法を決めて作られるものもあります。



それぞれの玉には意味があり、親玉は数珠の中心で釈迦如来又は阿弥陀如来を意味し、主玉は百八尊又は百八煩惱を意味します。四天王は四天王又は四菩薩を意味し、弟子玉は弟子を表すとされています。中通しの紐は観世菩薩を意味します。

写真は真宗の正式のお念珠で、蓮如上人の考案によるものといわれ、裏房の結び方が真宗独自のものです。「蓮如結び」といわれています。在家用のものが決められ玉の数には制限のないのが特徴です。一般的には片手念珠も多く用いられます。

上段の写真は宗派に拘わらず一般に使われる片手数珠ですが、親珠が一粒のみで、親珠と房の間に「ぼさ」(菩薩)と呼ばれる管状の珠が入っています。

◆八寸門徒のこと

浄土真宗における女性用本連念珠を八寸門徒と言います。主珠を百八珠・親珠を二珠・四天王を四珠を用います。房に特徴があり、数取りが出来ない様に本願寺第八世 蓮如が考案したとされる蓮如結びになっています。



季節の詩

孫の帰省待つ 楽しさや夏布団

故坂東そと句集「柿の花」より



ちなみに大谷派の場合、仏前結婚式を挙げた際に本山より授与される記念念珠は、女性には本連念珠が贈られるそうです。

◆変わり種の数珠



上の写真は百万遍大念珠です。写真のものは、小さなものですが、発祥の地である浄土宗の大本山百万遍知恩院(京都)には、円周百メートルもある大念珠があり、この大念珠の周りに参詣の方々が円を描くようにお座りになり、お念仏を称えながら念珠を繰り返します。

市老連の女性リーダー研修会開かれる

今年度の市老連女性リーダー研修会が七月八日西部体育館で開かれました。柴田市老連会長の挨拶のあと、地域福祉についてと題して本間恵子さんの講演があり、老いる覚悟を持つこと、そして老いてもなお自分らしさを守り抜くことが大切だとのお話がありました。健康保持のための軽体操の指導もありました。本会より坂東副会長ほか二名の役員が参加しました。

いかるぎ館に付帯施設完工

いかるぎ館利用の利便性を高めるため、資材や備品などの保管施設の建築が進められていましたが、七月末に完工しました。工費は二百万円余り、今年例年にならぬ猛暑でしたが、林要矩さんから地区内の建築関係の方々が、連日汗まみれで工事に当たられました。ご苦労様でした。



7月28日撮影

らんじょ浮世亭だより

7月21日のらんじょ浮世亭は、大画面ビデオシアター「親鸞聖人」の第四部を鑑賞しました。

親鸞聖人が、越後での流人生活から赦免され、京には戻らずそのまま関東におもむいて、邪教・迷信のはびこる中、時には石に枕するような生活をしながら、浄土真宗の布教に尽くされた様子が描かれています。

特に、獵師の日野左衛門や修験者弁円との命をかけた対決の様子、田植えて忙しい農民と共に自ら田植えをしながら法を説く聖人の姿が感動的に描かれていました。

午後は恒例の仏説阿弥陀経読誦のあと、蓮如聖人のお文の書写第四回として、末代悪人の章を書写しました。

次回は 8月18日 (第三水曜日) です

親鸞聖人 第五部 を大画面ビデオで上映します。

親鸞聖人が京都に戻られたあとの関東。日蓮という僧が現れ、「念仏は無間地獄へ墮ちる業である」と激しく真宗を誇りはじめたことや、聖人の長子善鸞が、「父より授かった秘密の法門がある」と言い、信心を授けるという儀式によって、信者を増やすなどしたので、これに疑問を抱く信者たちが真の極楽往生の道を問うため、京の親鸞聖人のもとへと命がけの旅に出かけます。

10時ころより

午前中だけの御来亭も大歓迎 !!!



関東で布教する聖人



交通量調査をする役員さん

地区内七カ所で交通量調査
高齢者の交通安全への意識を高めるため、県・市の老人クラブ連合会が取り組んでいる「そくさい安全21」運動の一環

した。この事業は市老連が年に七回、ブロックごとに実施しているもので、今回の般若・東般若ブロックには光寿会からは六人の会員が参加しました。

た。血圧測定、準備運動などのあと、握力・上体起こし・長座体前屈・開眼片足立ち・十趾障害物歩行・六分間歩行の六種目についてそれぞれ記録を取り、それをリーダーチャート(六角形のグラフ)に記入して、自己の体力の特徴をチェックしま



上体起こし



10分障害物歩行

高齢者の体力保持目指して

高齢者がいつまでも自立した日常生活を送るために必要な体力を保持することを目指して、自らの体力の現状を知る砺波市老連主催の健康管理事業が、七月五日、B&G

しまれわ行で

として、般老連が作る安全マップの基礎資料を得る交通量調査が、七月十五日頼成地内七地点で、光寿会全役員が参加して実施されました。最も交通量の多い午前七時半から八時半までの一時間、大型車、小型車別に、進行方向、右左折別など、細かな区分で車の交通状況が調べられました。

このデータはこのあと集計・分析されて、般若地区としての交通安全マップの作成に生かされます。

ペタンク般若Dチームが次勝

全国スボレク大会協賛庄東地区大会

今年十月富山県で開催される第二十三回全国スポーツ・レクリエーション祭に協賛して行なう庄東地区二ユースポーツフェスティバルが七月二十五日、庄東小学校で行われました。般若、東般若、梅檀野、梅檀山四地区から多数の住民が参加、カローリング、ソフトバレーなど六種目の競技を楽しみました。そのうち光寿会会員が参加したペタンクの部で般若Dチームが(島道成・島照子・林博)次勝しました。

8月行事予定

- ★ 2日 定例役員会
- ★ 8日 清掃奉仕作業
- ★ 18日 らんじょ浮世亭

いかるぎ 鶴木

伝統の国技大相撲が未曾有の危機に陥っています。暴力団が角界から追放されたのを始め、多くの琴光喜が角界から追放されたのを始め、多くの親方や幕内力士が処分されるといふ異常事態が起きました。そんな中で開催された名古屋場所では一人横綱の白鵬が大勝の連勝記録四十五を更新する四十七連勝を記録し、見事十五回目の優勝を果たしました。ただ、白鵬が大きな記録と共に全勝優勝したにも拘わらず、相撲協会が天皇賜杯を返上したため、千秋楽の表彰式では賜杯を手にすることが出来なかつたのは気の毒でした。賜杯返上は様々な不祥事を引き起こした相撲協会としてのけじめのつもりでしょうか、本場所に全勢力を傾注している力士達の心情を慮れば、優勝賜杯まで返上することは無いのではなやか。そんな声もあります。けじめをつけるべき方法や人はもつと別な所にあるのではないのでしょうか。